学修成果の可視化に向けた具体的検証方法一覧表（アセスメントプラン：学部）

成蹊大学では、成蹊大学の学位授与の方針（Diploma Policy；ＤＰ）、成蹊大学の教育課程編成・実施の方針（Curriculum Policy；ＣＰ）、成蹊大学の入学者受入れの方針（Admission Policy；ＡＰ）を策定しております。それらの可視化及び検証は以下の方法で実施いたします。大学全体レベル（機関レベル）、学科レベル（教育課程レベル）、授業科目レベル（科目･授業ごと）の学修成果を可視化し、その結果をそれぞれの改善につなげ学修支援を強化します。

＜達成すべき質的水準＞

学位授与の方針（Diploma Policy；ＤＰ）／※達成すべき質的水準は、大学・各学部・各学科策定のDPを参照。
教育課程編成・実施の方針（Curriculum Policy；ＣＰ）／※達成すべき質的水準は、大学・各学部・各学科策定のCPを参照。
入学者受入れの方針（Admission Policy；ＡＰ）／※達成すべき質的水準は、大学・各学部・各学科策定のAPを参照。

＜具体的な検証方法＞具体的な検証方法等は、次の表の通りである。

	入学前・入学直後 Admission Policy検証	コア/ オプション ※1	在学中（単位認定・進級判定） Curriculum Policy検証	コア/ オプション ※1	卒業時（卒業後） Diploma Policy検証	コア/ オプション ※1
大学全体レベル （機関レベル）	各種入学試験 アセスメントテスト(入学時)※2 学生調査(1年生次アンケート)	コア コア コア	GPA ※3 修得単位数 アセスメントテスト(3年後期)※2 学生調査(2･3年生次アンケート) 退学率・休学率 外部英語検定試験※４	コア コア コア コア コア コア	学生調査(卒業時アンケート) 学位授与数 就職率・進学率 アセスメントテスト(3年後期)※2 卒業生調査※5	コア コア コア コア コア
学科レベル （教育課程レベル）	各種入学試験 アセスメントテスト(入学時)※2 学生調査(1年生次アンケート) プレースメントテスト ※4 授業評価アンケート(1年生前期) 成績評価(1年生前期)	コア コア コア オプション オプション オプション	GPA ※3 修得単位数 アセスメントテスト(3年後期)※2 学生調査(2･3年生次アンケート) 退学率・休学率 外部英語検定試験※6 学生授業評価アンケート ルーブリック	コア コア コア コア コア コア オプション オプション	学生調査(卒業時アンケート) 学位授与数 就職率・進学率 アセスメントテスト(3年後期)※2 卒業生調査※5 卒業論文/卒業研究※7 卒業論文/卒業研究のルーブリック	コア コア コア コア コア コア オプション
授業科目レベル （科目･授業ごと）	ー		成績評価 学生授業評価アンケート	コア コア	ー	

※1 オプションの場合、その指標を検証に用いるか否かの判断は各学科に委ねる。

※2 アセスメントテスト：外部の評価者・専門家などによる評価で客観的な指標（学修成果の指標）を獲得するためのテスト。Diploma Policyで明示した項目検証の一指標。入学時と3年後期は原則として同じテスト種。

※3 GPA： 各学部学則参照。

※4 プレースメントテスト：新入生(１年生)全員が対象、１年前期授業開始前に実施。全学部、外部英語検定試験を実施。さらに理工学部においては数学・物理試験を実施する。

※5 卒業生調査：卒業生(3・5・10年後)へのアンケート、卒業生の就職先(応募先)へのアンケートを実施。

※6 外部英語検定試験：２年次生(履修科目によっては３年次生以上の一部）が対象。12月末に実施。

※7 卒業論文/卒業研究：提出状況、その評価などの数値データ。

＜可視化（アセスメント）活動を支える組織＞

【大学全体レベル（機関レベル）、学科レベル（教育課程レベル）】具体的な検証方法に明示されたデータを扱う大学の部、室、課、事務室（以下「各事務部署」とする）並びに大学、学部等は学長室総合企画課に学修成果の可視化に必要な数値データ（学生個々に紐づいた数値データ）を抽出し提供する。学長室総合企画課は、収集した数値データを必要に応じて統合し、大学・学部・各事務部署等の各所属長に指標を提供。大学・学部・各事務部署等は、その指標を検証・評価し、その結果を内部質保証制度の運用を通じて改善につなげる。また、大学・学部・各事務部署等の所属長は、検証・評価のために必要な指標の提供を学長室総合企画課に要請することができ、学長室総合企画課も大学・学部・各事務部署等の所属長に上記「具体的な検証方法」以外の数値データ提供を要請することができる。
【授業科目レベル（科目･授業ごと）】各科目・授業担当者は、当該授業の「授業評価アンケート」「成績評価」の指標を検証・評価しそれぞれの改善につなげる。